

## 2021 年度 COVID-19 における看護師派遣についての活動報告

法人名 神奈川県厚生連農業協同組合連合会  
病院名 相模原協同病院  
職種・所属 看護師・看護部・4S 病棟  
発表者氏名 小俣勝弘  
協力者氏名 井關治和 阿部徳子 安田貴代 古田麻利子

### 【背景】

A 県では、新型コロナウイルス感染患者の急増は深刻で病床数・医療従事者不足のため医療が逼迫状態であった。そのため看護師の派遣を国へ要請していた。20××年×月下旬、新型コロナウイルス感染症患者対策に従事していた看護師、尚且つ活動意思のある看護師を募り、複数人の希望者から 2 名の派遣を決定し、活動したので報告する。

### 【活動の実際】

A 病院は一般病床と回復期リハビリテーション及び、療養病床を持つ施設で、軽症中等症の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている。常に病床稼働率は 80% から 90% となっていた。病棟には常時呼吸器管理を施行している患者が 2~3 名入院している状態であり、一般病棟での呼吸器患者の対応が求められていた。実際の業務内容はレッドゾーンでの新型コロナウイルス感染患者に対して、清潔ケア・口腔ケア・気管内吸引・検温・検査介助・トイレ・オムツ交換・環境整備など患者に関わる全てのケアを実施した。派遣スタッフは一人の患者を受け持つのではなく、横断的に複数の患者のケアに介入していた。入院している患者は ADL が低く介助を必要としている高齢者や酸素投与している患者が多かった。

### 【考察】

今回 A 病院に派遣されたことで、現場スタッフの身体的、精神的負担の軽減が図れ、少しでも患者ケアの質の向上につなげることができたと考える。また、他施設での新型コロナウイルス感染症患者の対応などを情報共有することができた。今回この派遣を通し、地域を超えた協力体制の構築を早急に検討していく必要性を感じることができた。